



市川房枝政治参画フォーラム 2016

揺らぐ日本の社会保障制度

現在、保育園不足、非正規雇用による将来を展望できない若者の増加、生活保護受給者の半分以上が65歳以上の高齢者世帯、そして子供の貧困率は過去最悪など、格差が拡大し続けています。2025年以降は4人に1人が75歳以上という超高齢社会に向かい、国では「地域包括ケアシステムの構築」を急ぐよう基礎自治体に求めています。一方、社会保障の充実のための消費増税は先送りされるなど、日本の社会保障制度が大きく揺らぎ、その中で持続可能な共生社会をどう実現していくか、私たちはかつてない課題に直面しています。そこで、今回も各分野の専門家からお話しいただき、共に学び、自治の現場で実践していくためのフォーラムを開催します。熊本地震はじめ各地で災害が多発している中、災害に備えた自治体の対応についても一緒に考えましょう。

とき **10**月**28**(金)・**29**日(土)

ところ 婦選会館 最寄駅: JR線/代々木駅北口、新宿駅南口・新南口下車徒歩約7分 道順はセンターHP参照
小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分 地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分
対象・定員 自治体議員及びその支援者、テーマに関心のある人(主に女性)約40名(受付先着順)

プログラム

第1日 **10月28日(金)** 開場 12時

13:00~13:15 ガイダンス・主催者あいさつ

13:15~15:15 基調講演 **格差社会と民主主義**

法政大学教授 **湯浅 誠氏**

15:30~17:30 講演 **今後の介護保険法改正と総合事業のゆくえを探る**

淑徳大学教授 **結城康博氏**

17:40~19:00 交流会(自由参加)

第2日 **10月29日(土)**

10:00~12:00 講演 **災害と自治体の役割**

特定非営利活動法人NPO 政策研究所専務理事 **相川康子氏**

13:00~15:00 事例発表 **武蔵野市における地域包括ケアと新総合事業の取り組み**

武蔵野市健康福祉部長 **笹井 肇氏**

15:10~15:30 ディスカッション

15:30 閉会

参加費 ■16,000円(現職議員以外の方は8,000円) 交流会参加費は別途2,500円

備考 ▼参加希望者は**10月17日(月)まで**に、①参加費の払込み、②裏面の申込用紙の送付をお願いします。

お払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。

[振込み先] 郵便振替 口座番号 00170-0-561022 加入者名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター

▼原則2日間通してのお申込みを優先し、席に余裕があれば1日だけの参加もお受けします。

▼納入後の参加費はお返しできません。ご欠席の場合は代理の方にご出席いただけます。もしくは1年以内の他のフォーラムに振り替えてご出席いただけます。

▼お申込み、お問い合わせは下記まで。▼講師の都合などにより変更がある場合はご了承ください。

主催：公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 〒151-0053

電話 03-3370-0238 FAX 03-5388-4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>

(2016.6)

市川房枝政治参画フォーラム 2016：揺らぐ日本の社会保障制度

講師プロフィール



湯浅 誠(ゆあさ まこと)氏

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から3年間内閣府参与。現在、法政大学現代福祉学部教授の他、NHK 第一ラジオ「マイあさラジオ」、朝日新聞紙面審議委員及び編集権に関する審議会委員、日弁連市民会議委員。著書に『ヒーローを待っていても世界は変わらない』(朝日文庫)、『反貧困』(岩波新書。第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞)、『貧困についてとことん考えてみた』(茂木健一郎と共著、NHK出版)など多数。



結城康博(ゆうき やすひろ)氏

1969年生まれ。淑徳大学社会福祉学部卒。法政大学大学院修了。1994～2006年、東京都北区、新宿区に勤務。この間、介護職、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員として介護系の仕事に従事。2007年より淑徳大学総合福祉学部准教授(社会保障論、社会福祉学)。2013年4月より同大学教授。元社会保障審議会介護保険部会委員。著書に『在宅介護——「自分で選ぶ」視点から』(岩波新書)、『日本の介護システム—政策決定過程と現場ニーズの分析』、『孤独死のリアル』(講談社新書)など多数。



相川康子(あいかわ やすこ)氏

1965年、京都生まれ。筑波大学を卒業後、男女雇用機会均等法施行後の1期生として、兵庫県の地方紙「神戸新聞社」に入社。約20年にわたり、記者、研究員、論説委員等を務め、阪神・淡路大震災の災害報道やその後の復興に関する記事・社説を数多く手がける。3年間の神戸大学教員を経て、現在はNPO法人の役員として官民連携やコミュニティ政策、地域防災に関する調査企画、研修等を行う。近畿自治体学会事務局。消防庁消防審議会委員。



笹井 肇(ささい はじめ)氏

1958年広島県生まれ。80年武蔵野市役所入庁。市民協働推進課長、介護保険課長、高齢者支援課長、防災安全部長などを経て、2013年4月より健康福祉部長。現在、厚生労働省老人保健健康増進等事業「地域包括ケア『見える化』システム構築・運用業務に係る工程管理支援等検討委員会」委員、東京都社会福祉審議会検討分科会起草委員。著書に『地域包括ケア サクセスガイド』(共著：メディカ出版)、『改正介護保険の新しい総合事業の手引き』(共著：第一法規)など。

参加申込書

ふりがな お名前			
連絡先	住所	(〒)	
	電話	FAX	
	メール		
受講歴	はじめて参加 ・ 前に参加したことがある		
現職議員	自治体名		
	所属会派	党籍 有() ・ 無	
議員以外	活動など()		
参加費 払込方法	郵便振替 ・ その他()		
	払込金額	参加費(16,000円/8,000円) + 交流会参加費(2,500円) = 円	
	*参加費:現職議員以外は8,000円		
参加の きっかけ	議会事務局より ・ 当センターからの案内 ・ 『女性展望』誌上 ・ 当センターHP		
	その他()		
備考(要望など)			

FAX 03 - 5388 - 4633